

学生の頃から、仲間と共に福祉領域に従事。

青山慎史

広島市児童相談所 心理療法士

(2006年人文学部卒/2008年人文科学研究科卒)

2010



学生時代は大学の友人と誘い合い、臨時職員・ボランティアとして、いくつかの福祉領域に携りました。その過程で、困難なことに直面することもありましたが、仲間と勉強会を企画するなどして、乗り越えていくことで良い経験にできたと思います。また、研究・論文執筆にも積極的に取り組み、友人や先生と議論を交わし、様々な意見を交換。おかげで探究心に

2006



火が付き、大学院に進むきっかけとなりました。修大の心理学は、自然科学としての側面を求められる基礎心理学であり、世間一般に知られる臨床心理学とは趣の異なるものかもしれません。しかし、実際に心理職として働くと、基礎心理学で培った客観的な視点が、子どもたちの処遇・見立てに役立ちます。是非、後輩の皆さんにも、修大での学びをとおして、将来役立つ知識を身に付けてほしいと思います。